

ぷらっとホーム、モノのトークン化を実現する「ThingsDAO™」の稼働開始と特許取得、ネイティブトークン発行準備開始を発表

～直近の Web3 プロジェクトにおいて L2 環境での稼働確認と、
非金融領域での現実資産を取り扱う RWA 技術の基本特許を国内外で取得～

ぷらっとホーム株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木友康、以下 プらっとホーム）は、「モノのトークン化」を実現する当社の独自技術 **ThingsToken™** の稼働環境として、**ThingsDAO™** を正式に発表しました。同時に、2025 年 7 月以降に実施された 3 つの主要な Web3 実証実験において ThingsDAO™ が採用され、既存の Ethereum コンソーシアムチェーン環境に加えて、**Optimism (※1)** という主要な L2 環境（レイヤー2 ソリューション）での ThingsToken™ の稼働を確認したことをお知らせします。

さらに、ぷらっとホームは、ThingsToken™ と ThingsDAO™ に関連するブロックチェーンに関する基本特許を国内および海外で複数取得したことを併せて発表いたします。これらの特許は、モノにブロックチェーンアカウントを付与し、モノでもブロックチェーンに参加できるようにすることで、非金融領域での現実資産を取り扱う RWA (Real World Assets) 技術を実現するものです。また、モノを表現するトークンに、金融領域の RWA である証券トークン (ST: Security Token) やステーブルコインなどの通貨や暗号資産を含む非代替可能トークン (NFT: Non Fungible Token) や代替可能トークン (FT: Fungible Token) を必要に応じて連携させることができるものであり、さらに、膨大な数のモノと多様な参加者を含む自律分散型組織 (DAO: Distributed Autonomous Organization) ThingsDAO™ を成立させるための方法に関するものです。

※1 Optimism (オプティミズム) は、Ethereum の Layer 2 ネットワークです。Ethereum のセキュリティを維持しながら、より高速かつ低コストなトランザクションを実現する仕組みを提供しています。

<https://www.optimism.io/>

ThingsDAO™ の導入と L2 環境での稼働確認

ThingsDAO™ は、モノ、モノに関わる広範なシステムやサービス、そしてヒトを含む多様な参加者や関係者（投資家、受益者など）を、矛盾なくかつスケーラブルに取り扱うための分散型自律組織

(DAO) の枠組みです。ThingsDAO™はモノや参加者が膨大な数になってもボトルネックが発生せず、多様なモノや参加者を取り扱うことが可能なアーキテクチャとなっています。

ThingsToken™の稼働基盤としての ThingsDAO™は、直近で以下の 3 つのプロジェクトで採用され、Ethereum コンソーシアムチェーンに加え、L2 環境の Optimism での稼働が確認されました。

- 2025 年 7 月 23 日：Web3 技術を活用した地方創生を実現する「ねぶた祭 DAO」の実証実験
- 2025 年 8 月 27 日：INTMAX・ぶらっとホーム・スカパー J S A T 国内データセンターにおける INTMAX ブロックチェーン実証
- 2025 年 10 月 2 日：ぶらっとホームと日立が、NFT 技術と生体認証技術を連携させたシームレスな Web3 体験の創出に向けた実証

これらの実証結果は、ThingsToken™と ThingsDAO™が応用性が高く、異なるブロックチェーン環境や多様なユースケースにおいて適用できることを証明するものです。

ブロックチェーンに関する基本特許の取得

今回、国内外で取得された特許の主な要点は以下の通りです。以下の特許出願日、特許登録日は国内の日付です。

1. IoT におけるデータ流通を、ブロックチェーンを利用することで実用可能にする技術(第 1 特許)

特許出願 2018 年 12 月 20 日

特許登録 2020 年 4 月 20 日

IoT におけるデータ流通について、①データ通信路と、②ブロックチェーンを組み合わせることにより実用可能とする特許です。遅い速度で蓄積型のブロックチェーンと低速から高速まである IoT データ通信という速度の異なる二つのネットワークを組み合わせるハイブリッド構造を採用することで、IoT データを実用的に活用できるようになります。

2. 非金融領域の現実資産を取り扱う RWA 技術 (第 2 特許)

特許出願 2020 年 6 月 2 日

特許登録 2021 年 10 月 22 日

ブロックチェーン上でデバイス（モノ）がやりとりするためには、ブロックチェーン上でモノが認識される必要があります。「モノ」にブロックチェーンのアカウントを付与することで、ブロックチェーンにモノが参加することが可能となります。本特許技術によりブロックチェーンにモノに代表される**非金融領域の現実資産（RWA： Real World Assets）**が参加可能となります。

3. ThingsToken™と ThingsDAO™の成立方法に関する技術（第3特許）

特許出願 2023 年 7 月 12 日

特許登録 2025 年 7 月 16 日

モノに関わる関係や取り扱う情報を記述した「ThingsToken™」に対して、**モノを起点とする複雑な契約関係を取り扱うために、必要に応じて金融領域の RWA 等を関連付けることを可能にする特許です。**これにより、モノに関する情報と参加者（ステークホルダー）の金融を含む多様な契約に関する情報がブロックチェーン空間で利用可能となり、膨大な数のモノと多様な参加者に対応し、モノを含んだ契約空間である DAO（ThingsDAO™）の成立が可能となります。

ネイティブトークン発行に向けた準備を開始

ぶらっとホームは、本実証結果および特許取得の成果を踏まえ、先日設立した暗号資産の子会社「Things Revolution 株式会社」により、**ThingsToken™および ThingsDAO™のネイティブトークンの発行**を視野に入れた準備活動を開始することを発表いたします。

ぶらっとホームは、ThingsToken™と ThingsDAO™を通じて、現実資産（RWA）の「モノ」の可能性を解き放つことで、新時代の分散型経済圏の創出を推進してまいります。

<参考>

2025/7/23

Web3 技術を活用した地方創生を実現する「ねぶた祭 DAO」の実証実験を開始

https://www.plathome.co.jp/press-release/20250723_hse_plat/

2025/8/27

INTMAX・ぷらっとホーム・スカパー J S A T 国内データセンターにおける INTMAX ブロックチェーン実証を開始

https://www.plathome.co.jp/press-release/20250827_intmax_jsat/

2025/10/2

ぷらっとホームと日立が、NFT 技術と生体認証技術を連携させたシームレスな Web3 体験の創出に向けた実証を開始

https://www.plathome.co.jp/press-release/20251002_hitachi_plathome/

ぷらっとホームについて

ぷらっとホームはマイクロサーバー・IoT ゲートウェイの開発製造メーカーです。1993 年の創業より Linux サーバーのパイオニアとして、通信やネットワーク分野に自社製サーバーを供給してきました。代表的な製品である超小型 Linux サーバー「OpenBlocks®」は、大手通信事業者をはじめ、物流、輸送、金融、エネルギー産業、官公庁など日本の社会インフラを支える様々な領域で採用されており、成長しつつある IoT の分野でも Linux サーバーをベースとした当社の IoT ゲートウェイは主要産業で幅広く利用されています。

本発表に関するお問い合わせ先

ぷらっとホーム株式会社 事業推進グループ
pr@plathome.co.jp

※ プらっとホームおよび Plat'Home の名称・ロゴは、日本国およびその他の国における、ぷらっとホーム株式会社の登録商標または商標です。

※ 本プレスリリースに記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。

※ 外観・仕様・価格等は予告なく変更する場合があります。